

令和6年度 秋田県健康づくり審議会 がん対策分科会  
子宮がん部会 議事概要

1 日 時 令和7年2月28日（金）18時～19時30分  
※オンライン開催（Z o o m）

2 委員の出席 出席委員数：9  
欠席委員数：0

3 オブザーバー（検診機関）の出席：3

4 議 事

（1）部会長選出

（2）報告事項

市町村における子宮頸がん検診実施状況について

（3）協議事項

- ・秋田県の精度管理評価指導基準及び改善指導について
- ・秋田県子宮頸がん検診実施要領 様式の改正について

（4）その他

## 議 事 概 要

(開会宣言、健康づくり推進課長のあいさつに引き続き、秋田県健康づくり推進条例の規定に基づき議事(1)部会長選出が行われ、寺田幸弘委員が部会長に選出された。また、部会長は大山則昭委員を部会長職務代理者に指名した。)

### 議事(2) 報告事項①市町村における子宮頸がん検診実施状況について

- 事 務 局 (資料1に基づき説明)
- 部 会 長 (2ページ) 年齢調整死亡率については、悪くはないという認識で良いか。
- 事 務 局 その認識で良い。
- 部 会 長 周産期死亡率もだが、1例、2例変化すると、大きく変わる数字であるのでこれで楽観できる話ではない。他県と比較する話ではないとも思うが、全体的な調整として、こういった数字が出てることになるかと思う。
- 部 会 長 (4ページ) 二次医療圏別の粗罹患率とあるが、二次医療圏がこれから先3つとなるのでそのあたりをどうするか。全体のトレンドを見るためには新しい二次医療圏の方が、現状を正確にわかりやすい気もする。これから先、人口減少が進むので、それに即して状況認識も変わっていかねばいけないと思うが行政ではどうお考えか。
- 事 務 局 二次医療圏が3つに再編された一方で、がん医療圏については8医療圏のままであるため、将来的に3医療圏化となった段階ではそれに合わせた形での整理を検討していく必要がある。当面はがん医療圏と合わせた8医療圏での資料提供をした上で、その地域を見ていきたいと考えている。
- 部 会 長 承知した。しかし、例えば、北秋田の罹患数が5であり、1人、2人増えただけでだいぶ状況が変わることは否めない。ワクチンがもう少し普及すれば、さらに患者の数が少なくなる。子宮がんは罹患者の年齢が若いのでこれから先、罹患数は減っていくことになるため、どういう形の数の整理が一番わかりやすいかを少しずつ考えていくことが重要である。
- 事 務 局 必要に応じて資料提供のあり方を考えていきたい。
- 大山委員 (1ページ) 子宮頸がんに関して、このデータは上皮内がんを含む罹患数となっていると思うが、上皮内がんを除いた浸潤がんの罹患数や罹患率がわかれば示していただきたいがいかがか。

- 事務局 後ほど資料を提供させていただきたい。
- 部会長 (8ページ) 各市町村の受診率では、大潟村が例年高いがなぜか。
- 事務局 農閑期にまとめて検診を受ける機会があるためと推測される。
- 部会長 大潟村ではどのように検診を実施しているか。
- 事業団 事業団では大潟村との契約で、巡回バスで受診してもらっている。
- 部会長 受診率が低いところはそういった方法を真似すると良いのではないかな。
- 部会長 (9ページ) 一番受診率が高いのが30～34歳というのは悪いことではない。
- 部会長 (12ページ) 要精検の方への受診勧奨は市町村によって異なるか。
- 事業団 事業団では、未受診者の方のリストを年3回、4か月に1回市町村へ提出している。
- 大山委員 (14ページ) 精検受診率については要改善になっているが、90%に近く、全国的に見ても高い位置にある。がん発見率に関しては対象者が、60歳代にも2つ目のピークが来ているので、この年齢ピークを20代、30代に持ってこれれば、がん発見率がもう少し高くなるのではないかな。受診者の年齢階級を考慮したほうが良い。
- 部会長 (16ページ) クーポンは、20歳だけが対象か。
- 事務局 この事業については20歳を対象とした助成事業となっている。
- 部会長 実際にクーポンがあって検診を受けたという人もいる。受診勧奨も大事だが、費用の助成も大事である。
- 田中委員 秋田市の場合、市独自で30歳代の偶数年齢に500円クーポンを配布しており、30歳代の受診率が高いのはその効果もあると思う。
- 部会長 20歳のクーポンは秋田県で行っているのか。
- 事務局 クーポン券は、国が行っている事業。県では、独自に20歳代の偶数年齢を対象に子宮頸がん検診の助成事業を行っている。
- 田中委員 大潟村では、健康ポイント事業を行っており、検診の受診で商品券がもらえる制度があり、その取組もあって全体的な受診率等も高いのだと思う。
- 部会長 市町村によって財政状況等あると思うが、他の市町村でも取り入れてもらえると思う。

### 議事(3) 協議事項①秋田県の精度管理評価指導基準及び改善指導について

- 事務局 (資料2に基づき説明)
- 部会長 指導した内容についてどのようにフィードバックされているかが大事であるが、いかがかな。

- 事務局 精検受診率 90%未満の市町村に理由と改善に向けた取組を挙げ  
ていただいたものを資料 7 ページにまとめている。
- 部会長 2 年連続対象となっている市町村については、何をやって功を奏さ  
なかったのか、これまでと違うことをやってもらわないといけない。
- 事務局 市町村でそれぞれ取組をされているが、受診に行動を移してもらう  
のが難しく、知識の啓発も必要になると思う。
- 部会長 今年はどうにフィードバックしていく予定か。
- 事務局 例年文書で指導を行っており、今回もその方法は継続していきたい。
- 部会長 取組を実際に履行したか報告をしてもらうのが良い。部会として求  
めたい。
- 事務局 指導の方法について検討させていただきたい。
- 南條委員 (5 ページ) 能代市が精検受診率 1 人となっているが、他の年も同  
程度か。
- 事務局 資料 1 の 12 ページに示している令和 4 年の精検受診率では能代  
市は要精検者 19 人で受診者が 15 人となっている。
- 部会長 異議がなければ市町村については、遵守状況 C 以下で 90%未満を  
指導の対象とすることをお願いしたい。
- 部会長 (14 ページ) 次に検診機関について。検診機関では精検受診率が  
低い場合、何を行っているか。
- 事務局 (8 ページ) 検診機関にも理由を回答いただいているが、市町村へ  
精検受診者の報告を行う等、迅速な情報提供を実施していただい  
ている。
- 部会長 市町村にも伝えないといけない。市町村の担当者を集めて、精検受  
診の受診勧奨をどうしたら良いか勉強会を行うのが良いのではな  
いか。
- 事務局 研修会について検討したい。
- 大山委員 各市町村でいろいろ検討していると思うが、好事例を挙げてもらっ  
て、それを全県的に広めていくような研修会が良いと思う。
- 部会長 検診機関については、チェックリストの遵守状況 B 以下で、精検受  
診率の評価は 90%未満としたい。対象の機関は、いくつか。
- 事務局 精検受診率について 5 機関が対象である。
- 部会長 可能であれば、その検診機関がある行政にも伝えていただきたい。
- 事務局 指導の際に伝えるようにしたい。

## 議事 (2) 協議事項② 秋田県子宮頸がん検診実施要領 様式の改正について

- 事務局 (資料 3 に基づき説明)

- 大山委員 フローチャートについて、郡市医師会が入っているが、県の医師会が入っていないので入れていただきたい。
- 田中委員 精度管理は子宮がん検診中央委員会の役割と認識している。それを指導するのが子宮がん部会になるのか。
- 利部委員 引き継いだ資料には子宮がん検診の精度管理フローチャートがあり、子宮がん検診中央委員会が明記されている。
- 田中委員 もう一度確認してフローチャートを作り直した方が良いのではないかな。
- 大山委員 この精度管理の上に県医師会の子宮がん検診中央委員会を入れることと、県の医師会についても入れてもらった方が分かりやすい。原案をもう一度作り直して提示してもらった方が分かりやすいと思う。
- 部会長 実働している先生方の意見は貴重なため、大山委員、利部委員、田中委員と協議をしていただきたいが、いかがかな。
- 事務局 先生方の協力をいただき作成したい。
- 部会長 様式の追記については、既に認知している内容であるため問題ない。

#### 議事（４）その他（ＨＰＶ検査単独法県内市町村見込みについて）

- 事務局 （参考資料に基づき説明）
- 部会長 これはいずれやらなければいけないことだが、共通認識としては全県一緒にやらなければ混乱する。当県でどうするかというのは、できないの判断と準備をどうしていくかということだと思う。
- 田中委員 秋田市ではシステムの的にはできると思うが、人が流動的に動く中でマイナンバーへの書き込みが必要になると思う。今の時点でかなり高いハードルだと思うが、可能かな。
- 事務局 マイナンバーシステムの整備が課題と考える。国ではシステム改修の補助事業が考えられているようだが、詳細は不明のため、情報が入り次第情報提供させていただきたい。
- 部会長 不利益となる方が出ないようなシフトをしていかなければいけない。

以上